帰加肉町の魅力体験!! ふるさとワーキングホッデー

ふるさとワーキングホリデーとは、都市部で暮らす方々が、一定期間、地域に滞在し、働いて収入を得ながら、地域の方との交流や地域の魅力を体験する交流事業で、令和4年7月13日から9月12日までの期間、NPO法人シュマリナイ湖ワールドセンター(代表 中野信之氏)にて、2名の方が参加し実施されました。

参加されたお二人からは、幌加内の大自然との触れ合いや都会では体験することが出来ない掛けがえのない時間を過ごすことが出来たこと、またワーキングホリデーに参加して、幌加内町とのご縁が出来たことに感謝しつつ、ワーキングとホリデーを満喫された様子でした。



ワーホリ参加者の



武智 昌代さん (36歳)

早稲田大学 上林 賢治さん (21歳)



政和アート Fes 会場でチェロ演奏



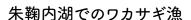
新そば祭りでほろみんとツーショット!

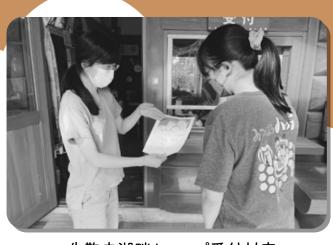




そば打ち体験

Н





朱鞠内湖畔キャンプ受付対応

事業に参加し

取り組み続ける行動が大事。 中に起こる問題に対して工夫し くさんの大事なことを学ばせて 持った人が大事、こうしたいと と感じました。目が開かれた思 ことが大事、 を共有してくれる人とつながる いう気持ちが大事、その気持ち いです。様々な技術や考えを そして、 実現の途

ただきました。

武智 昌代さん

では、 白樺、 幌加内町って良いところだなぁ した。 新しいものが作られていくのだ という意志と行動で、どんどん 夫していくかが大事と認識して している方には、 シュマリナイ湖 いました。ここでは、 会社で2人の部署におり、そこ と思いました。以前200人の ていろいろあると思いますが、 に嬉しかったです。ずっと暮ら 万と関わりを持てたことも本当 ターの方 ートFesの方など、 とても貴重な経験となりま 決められた仕事をどうエ ヶ月間、 何気ない景色も新鮮で キャンプ場やそばの花 役場の方以外にも、 本当に濃い日 ワー 不便さも含め やりたい 様々な ۲ セ

> 田 大 学 賢治さん

暗の夜空の下で空気が冷たく秋の訪れを感じながら、 き火・BBQをしたのは最高でした。 ンプ場や湖の景色を楽しむことが出来ました。 業先での小学生の自然体験プログラムでは、自分も一緒にキャ 駆け抜けるのは爽快で湖を独り占めしているようでした。 受け入れ先の【レークハウスしゅまりない】から見る湖の美 内町での生活は自然の素晴らしさを贅沢に堪能でき、 しさに魅了されました。広大で波が穏やかな朱鞠内湖を船で 全く違う環境での日常を体験できることだと思います。 ふるさとワー 参加 できて本当に良 キングホリデー かったと思える充実した日々でした! の最大の魅力は普段の生活とは さらに、 中でも 外で焚 真っ 幌加 就

来る釣り人や湖の調査や研究で来る人がいるのを知りました。 そばのコシが今まで食べたものと段違いでした。 加内町に を知ることが出来ました。 じ大学生の方の話を聞いたりして、 いで食らいつくのを体験したり、 自分にとって未知の領域でしたが、 活気を感じました。 人で賑わっていました。人口が少ない町とは思えないほどの ホリデー また、 幌加内町の魅力も知ることが出来ました。 期間中に3年ぶりの新そば祭りが開催され、 来て食べた蕎麦の美味しさには衝撃を受けました。 朱鞠内では湖に住むイトウに魅了されて 調査の手伝いできている同 イトウが竿を凄まじい勢 釣りの面白さや湖の魅力 ワー 初日に幌 - キング 多くの

> \blacksquare H

> > Ŧ

また、 をして頂いたので、 変お世話 た冬の時期にまた来てみたいです! どん発信できればと思います。 それを払拭されるほど刺激的で自然に魅了された時間でした。 遠く離れた場所での生活をすることに不安もありましたが、 役場やシュマリナイ湖ワー ワ になりました。 キングホリ とても充実した時間を過ごすことが出来 デー 皆様が快く迎えて下さり、 で体験した幌加内の魅力をどん また、 ルドセンターの方々には大 雪で景色 が 様変わりし サポート